

正名の「くろがねもち」

「くろがねもち」は高木に分類されるものの、自然状態での成長は普通 10m 程度にとどまり、あまり高くない。明るいとこを好む。葉は革質で、楕円形でやや波打つことが多く、深緑色である。表面につやがある。若い茎には陵があり、紫っぽく色づくことが多い。春 4 月に新芽を吹き、葉が交替する。雌雄異株で、花は淡紫色、5 月から 6 月に咲く。たくさんの果実を秋につける。果実は真っ赤な球形で、直径 6mm ほどである。

しばしば、庭木としても用いられ、比較的都市環境にも耐えることから、公園樹、あるいは街路樹として植えられる。「くろがねもち」が「金持ち」に通じるから縁起木として庭木として好まれる地域もある。西日本では野鳥が種を運び、庭等に野生えすることがある。材木は農機具の柄としても用いられる

正名町の「くろがねもち」は県下有数の大きさで、推定樹齢が250年以上ある。家屋に接した独立樹であり、枝下は高く、「くろがねもち」特有の大枝を有する。樹冠の広がり、同種とは異なる独特の姿である。樹高18m、枝張りには左右前後に17mに及んでいたが、現在は刈り込まれて全体に小さくなっている。



正名町のくろがねもち 20150807



正名町のくろがねもち 20150807



くろがねもちの花



くろがねもちの実



本項は以下の資料を引用している。

[わたしたちのふるさと 六ツ南 114 選]

監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年児童 114 名
(平成 25 年 3 月 19 日卒業)
編者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
発行日 2013 (平成 25) 年 3 月 1 日 初版発行
印刷所 ブラザー印刷株式会社
製本 ブラザー印刷株式会社
発行 岡崎市立六ツ美南部小学校